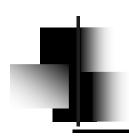


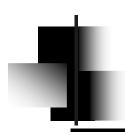
- ■日々の改善を通じて人が育つ
- ■継続できる風土の醸成
- ■PDCAの習慣化

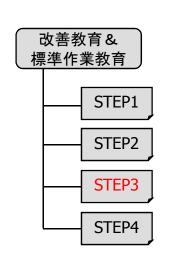




1. 何のための教育かを考える

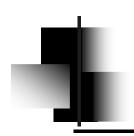
- 管理するということは・・・・望ましい状態を意識的 に作り出す
- 人・もの・設備の観察から指導・訓練の二一ズを 掘り起こす
- 標準作業の確立と徹底
- 日・週・月・期・年の作業管理

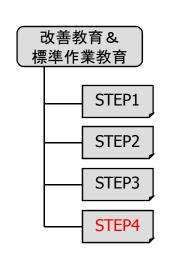




2. 標準作業

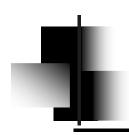
- 現状の分析・・・動作分析
- 最善の方法を検討
- トライアル
- 標準作業書への反映
- 標準作業と標準時間

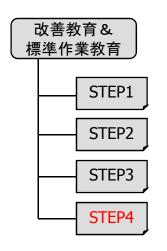




3. 管理手法の教育

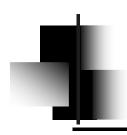
- QC7つ道具
- 特性要因図、パレート図、グラフ、チェックシート、 ヒストグラム、散布図、管理図
- 現場でチェックシートが使用されていてケースはよく見かけるが、改善にうまく使われていることはほとんど見かけない
- データ分で気を活きた使い方ができるように QC7つ道具を使いこなす指導

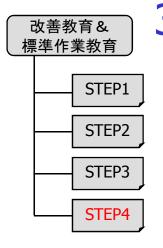




3. 管理手法の教育

- 2 能率管理
 - 時間記録制度
 - 労働生産性と能率管理
 - 複合能率の向上
- ③ 人員計画
 - 人員計算と所要人員
- 4 作業編成
- 5 工程分析





3. 管理手法の教育

- 6 稼動分析
 - 稼動分析の種類
- ⑦ 動作分析と動作改善
 - 技能とは
 - 動作経済の4原則